

Voice

ヴォイス
第14号

大分県立芸術文化短期大学 サービスラーニング公式新聞
第14号/発行2018年3月20日

自分の物語を探して、見つけて、語る!



≡ 特集 ≡

府内学生エコフェスタ 竹田食育ツーリズム研修

写真： 竹田食育ツーリズム研修



2017年度に行われた サービスラーニングをご紹介します。

本学ではサービスラーニングを全学科で単位化し、実施しています。サービスラーニングでは、地域活動を行うだけでなく『活動の意味を学ぶ』『異なる活動を考える』『活動を発信し伝える』事を重視しています。サービスラーニングは『教育』であり、『ボランティア』とは違います

商店街の活性化と環境について考える 府内学生エコフェスタ



風と光の通り抜けるまち、
府内5番街

大分市府内五番街商店街は、大分駅から北に歩いて5分。アーケードを造らないヨーロッパ風のおしゃれな商店街です。「府内5番街」という名前は、府内町を東西に抜ける道路を南側から数えて5番目の通りということから、またニューヨークの5番街のように洗練された商業文化の発信地をイメージして名付けられました。

開催月 5月 府内学生エコフェスタとは

府内5番街商店街で行うイベント。学生が企画・準備・運営の全てを行いました。2017年度は新聞やラジオにてイベントの宣伝を行い、当日はキャンドルを並べ節電を呼びかけるとともに、「世界一小さな花火大会」やステージ企画などを行い、まちなかの活性化を目指しました。

Twitterで情報発信!

#ecofes 府内学生エコフェスタのTwitterはこちらでCHECK https://twitter.com/ecof_funa



府内学生エコフェスタ2017
#ecofes

当日のイベントの様子などをTwitterにてハッシュタグ「#ecofes」にて宣伝、学生のステージの様子や、キャンドルナイトの写真などが掲載されています。

当日行われた ステージイベントプログラム

- 13:00~ 府内丑舞によるオープニングセレモニー
- 13:50~ ジャズサークルの演奏
- 14:25~ ダンスサークルの発表
- 14:50~ コスプレ大会
- 15:10~ サービスラーニング発表
- 15:25~ 軽音サークルの演奏
- 16:00~ ビンゴ大会



TOMORROWさんのライブイベントも行われました

学生の力で イベントを全て企画し、運営する

学生だけで中心となり、イベントを企画し、運営する府内学生エコフェスタ。チラシやポスターを作成。ラジオにて出演、新聞の記事に掲載されるなど宣伝に力を入れ、ステージイベントを行うなど、イベントを盛り上げる為に様々な企画を行いました。



ステージイベントも学生達が出演! ダンスやコスプレ大会なども行われました。

学生が作成したポスターやチラシ



BINGO
13:15~13:25
とりまラジオ
16:40~17:00
出演しました!



環境について考え行動する。 ワークショップ

当日はワークショップを企画し、新聞紙で作るエコバックや、あまった紙などで作成した手作りのしおり作成などを行いました。



一番の見所! キャンドルナイト

植物油を凝固材で固めた500個のキャンドルを作成し、各家庭で余った牛乳パックを半分に切り、周りに紙を巻いたものを配置しました。側面の四角い窓からは、自由に描かれたイラストがあたたく浮かび上がる仕組みになっています。



飲み終わった牛乳パックを回収



エコフェスタの4つの企画

1 キャンドルナイト

風と光の通り抜けるまち、府内5番街に植物油を凝固剤で固めた500個のキャンドルを並べました。

3 ワークショップ

環境を考えるをテーマに、エコバックやしおりをリサイクルで作るワークショップを行いました。

2 ステージイベント

サークルによる出し物や、ビンゴ大会、コスプレ大会、丑舞など会場を盛り上げるイベントを行いました。

4 世界一小さな花火大会

府内5番街に並べたキャンドルを使い、線香花火で小さな花火大会を行いました。

情報コミュニケーション学科 2年 黒木瑠奈

府内学生エコフェスタは中央商店街が連携し、環境について考え、商店街の活性化を図ろうと2011年に始まりました。イベントを通じて府内五番街商店街にその後も足を運ぶきっかけにすることや、学生目線での宣伝で新たな魅力を発見してもらおうとともに環境問題について意識を高めてもらうことを目的としています。エコフェスタではワークショップや輪投げ・ボウリング、クイズラリー、ステージ、キャンドルナイト、線香花火を使用した世界一小さな花火大会など、様々なイベントを行いました。当日参加者は実行委員も含め80人以上と、サービスラーニング内でも大きなイベントの1つです。学生主体のイベントなので、企画運営のほかにも道路使用許可を取りに行ったり、新聞やラジオで宣伝を行ったりと大忙しでした。大変なこともありましたが多彩なメディアを通じて情報発信する能力の向上や、企画運営を行う能力を身に付けることができました。

特に中心となって活動した先輩!

活躍した学生の声

環境クイズラリー・わなげ・ボーリング!

環境クイズラリー、ペットボトルや古新聞を使ったわなげ、ボーリングなども企画し商店街に訪れた子ども達に遊んでもらいました。



ボーリングなどの景品にシールや、シーグラスを使った手作りのストラップを作り、遊んだ子ども達にプレゼントしました。



竹田の豊かな農産物を味わい情報発信を行う! 竹田食育ツーリズム研修

農家に宿泊して情報発信を行い、とうきびの収穫作業や、「とうきびフェスタ」のボランティア活動を行いました。地元の食材の知識と、食を使ったまちおこしの現状や食文化を知る事が目的になっています。竹田の魅力をもっと多くの人達に知ってもらおうと積極的に活動しています。

平成21年度から
毎年7月に行われています♪



地元の食文化を知る農家民泊

平成21年度より、「サービスマーケティング」の一環で「たけた食育ツーリズム研修」を毎年7月に行っています。今年も竹田市農家民泊「きちよくれたけた」さんととうもろこしの生産組合「とうきびの郷すどう」さんのご協力のもと行われました。

SNSを利用した情報発信!

LINE, Twitter, Instagram, Facebookでハッシュタグなどをつけて宣伝!

☑️ #たけたみつめた #taketam
ポスターも作成しイベントを宣伝しました!



(宿泊先農家さん)

- 森のぶらんこ
- 蛸の里のぶどう畑
- 雲中坂
- 青柳庵

7月15日(土)各農家に分かれ、羽釜でご飯を炊いてカレー作りや、粉から生地を作り石窯でピザを焼いたり、うどん打ち、竹でマイ箸や箸置き作りといった様々な体験をさせていただきました。

羽釜で
カレー作り!



うどん
打ち体験!



竹でマイ箸、
箸置き作り体験!



食を使った町おこしの現状を知る とうきび収穫体験と 「とうきびフェスタ」のボランティア活動!

翌16日では、竹田市菅生の卯野農場に集合し、とうきび(とうもろこし)早朝収穫体験を行いました。早朝の畑で一番美味しいトウモロコシを味わい、貴重な体験をさせていただきました。

早朝5時
から収穫!



会場放送も
行いました!



夜明け前の収穫が一番糖度が高くなり、その糖度はメロンを上回るそうです。

収穫体験のあとは「道の駅すどう」で開催された「とうきびフェスタ」にて、各ブースでのとうきび販売や収穫コーナーのお手伝い、会場放送で芸文短大の取り組みの情報発信などを行いました。

「とうきびフェスタ」が行われる 竹田市菅生とスイートコーン

竹田市菅生は九州一のとうもろこし産地になっていますが、かつては阿蘇のとうもろこしとして出荷され、ブランド力がいま一歩というところでした。しかし、「とうきびフェスタ」を開催したり、本学の学生も協力して情報発信するなどして、徐々に名前が知られるようになってきました。大雨の被害などもありましたが、全国放送などで取り上げられ、この時期の生食のスイートコーンは話題を呼んでいます。

情報コミュニケーション学科 2年 遠本 愛美 祖母井 奏絵

活躍した学生の声

特に中心となって活動した先輩!

竹田食育ツーリズム研修として、今年も農家民泊、とうきびフェスタに参加しました。この2日間では、農家さんが考えてくださった体験メニューや、スイートコーンの収穫、販売など、とても貴重な体験をさせていただきました。また、多くの方々に竹田の魅力を知ってもらうため、情報発信に力を入れて活動を行いました。情報発信をする際には「#たけたみつめた」や「#taketam」をつけて投稿しました。アンケートの結果から、SNSを利用していない方々にも情報が届くように、SNS以外での情報発信もすることが大切だと気づきました。活動に参加した学生から、来年もぜひ参加したいという声や、竹田の自然を感じることができたなどの声が多くあり、今回の活動が竹田の魅力を知るきっかけになれたのではないかと感じました。これからもこの竹田食育ツーリズム研修を続けていってほしいです。

その他に行われたサービラーニングの一部をご紹介します! 学んだことを地域で活かす、 地域で活動することで学びの意味を考える。

サービラーニングは毎年50前後のプログラムが行われております。
特に積極的に活動した学生達の感想をご紹介します。



小さな子ども
楽しめるお祭りに!

活動月
7月

鶴崎清正公二十三夜祭

加藤清正公の遺徳を偲び、清正公の命日の7月23日に、鶴崎商店街の国道197号を歩行者天国として鶴崎「清正公二十三夜祭」が開催されます。清正公の生きた49歳を記念して、49.723mを走る「国道一番」の準備・運営などの補助スタッフや、小さな子どもも祭りを楽しめるように「ワークショップ」を開いたり、エコについて考えながら遊ぶ「エコステーション」など、今年も多くの学生が企画段階から参加して、祭りを大いに盛り上げました。

情報コミュニケーション学科 2年
池永 さつき 小笠原 茉佑 野中 紀美 八坂 梨沙子

私たちは鶴崎清正公二十三夜祭に参加しました。この祭りは毎年7月23日に行われる祭りです。大分でもなかなか規模の大きい祭りなので知っている方も多いのではないのでしょうか。二十三夜祭のサービラーニングでは、鶴崎商工会議の方々たちと一緒に、49.723メートルを走る国道1BANという企画のパネル作りをしたり、芸短生が考えたワークショップや、エコステーションなどの活動を行いました。ワークショップやエコステーションなどは環境と二十三夜祭をもっと賑やかにすることを考えて作られた活動です。さらに、今年の二十三夜祭では、情報発信というのをテーマにインスタグラムやフェイスブックのパネルを作りました。そして、このパネルで写真を撮ってもらいSNSにあげてもらおうのを目的としました。想像以上にたくさんの方々に写真を撮っていただきましたが、SNSへの投稿が少なかつたため、来年はもっと情報発信ができるような企画をしてほしいと思います。

環境について考え
商店街を現状を知る

活動月
7月~10月

おおいたうつくしショーウィンドー うつくし感謝祭

身近な環境保全活動を通じて地域の活性化につなげる県民活動「おおいたうつくし作戦」、商店街が環境を意識した活動を行いながら賑わいの創出を目的とした「おおいたうつくしショーウィンドー」の活動に協力し、アンケート調査などを行いました。「うつくし感謝祭」でワークショップやアンケート結果の発表を行いました。

情報コミュニケーション学科 2年
矢野真歩 湯浅裕香

私たちは、商店街が環境を意識した活動を行いながら賑わいの創出を目的とした「おおいたうつくしショーウィンドー」の活動を行いました。具体的な活動として、うつくしショーウィンドーの参加店舗を対象にした環境に関する意識や取り組み状況を調査するアンケートを実施し、アンケート結果の集計を行いました。そのアンケート結果を基に、「うつくし感謝祭」で発表しました。アンケート結果から、環境活動が商店街のイメージアップにつながると回答したのが、ほとんどの店舗で、環境活動に取り組むことが商店街にも良い影響に繋がるといことが分かりました。また環境に関する取り組みで困難と感ずることとして、取組んだ成果を実感しづらいということが挙げられました。この点は、改善しなければならぬ課題だと感じました。今後も商店街の活性化と環境問題を意識した活動を展開して欲しいと思います。



若者集客アップを
目指して!

活動月
6月~7月、11月

大分トリニータ若者集客大作戦

大分トリニータ若者集客大作戦は、若者集客と、継続して試合観戦をしてもらうことを活動の2大目標とし、様々な企画を実施しています。今年は、活動への認知者がいるということを生かし、SNSを利用した情報拡散に力を入れました。フェイスブック販売や、今年から新たに実施するトリチケという企画を行いました。若者が頻りに使用するSNSを利用し、情報発信に力をいれました。また、会場にきたサポーターへの宣伝として、チラシ配布も行ってきました。

トリチケとは!
トリチケとは、会場へ継続的に来てもらうことを目的とした抽選券のことです。トリチケをフェイスブックを購入いただいた方に配布。当日会場で、トリチケを持って来た方に限り抽選会を開催しました。当選者への賞品は、試合後の選手と写真を撮ったりすることができる、レセプションルームへの招待となりました。外れた方には、芸短オリジナルのキャラクターステッカーを配布しました。トリチケを配った日がフェイスブックの売上が一番伸びていることから、選手に会える企画を交え、興味を持つサポーターが増え、運動してこの活動自体も興味を持ってもらえると感じました。



ボールペンで
募金活動!

活動月
9月~12月

赤い羽根ボールペン応援プロジェクト

「赤い羽根ボールペン募金」は、共同募金会が新たな募金手法として行う「寄付金付き商品」の取り組みです。美術科の学生によってデザインされたボールペンを、PRや販促活動を行い、募金額アップを計ろうと結成されたのがこのプロジェクトです。学生たちは率先して様々なイベントに出かけて行くなどして募金活動を行いました。

情報コミュニケーション学科 1年
亀井菜々 高瀬彩葉 岡 奈都輝 渡部 美来

赤い羽根ボールペン応援プロジェクトとは、共同募金活動の一環として芸短が行っている活動です。200円以上募金していただいた方に、美術科の学生がデザインしたボールペンを1本贈呈しました。赤い羽根についてわかりやすくまとめたボードの作成、地域の様々なイベントや芸短祭で募金活動をし、500本のボールペンをお渡しすることができました。募金活動をするにあたり、明るく大きな声で呼びかけをすることはもちろん、年齢に応じたコミュニケーションの仕方を使い分けることが大切だと感じました。また、募金の使い道を赤い羽根共同募金の方々から教えていただき、募金をしていただいた方に自分たちで説明できるようになることを目標として取り組んでいました。私達と同世代の方により多く募金に協力していただくためにInstagramなどのSNSを活用することが必要になってくると考えます。今後はもっと情報発信に力を入れることを目標に成果を出せるよう頑張っていきたいと思ひます。



活動月
11月~12月

街中に大きな プレゼントを! 「あなたへメリークリスマス」 巨大モザイクアート展

大分の街中に巨大モザイクアートを展示することで、クリスマスプレゼントに見立てる取り組みをしています。この取り組みは、全国的な課題になっている中心市街地の衰退問題を住民・行政・大学・企業が一体となって活動し、その中心的役割を学生が担います。

情報コミュニケーション学科 1年
武村 晏由

「あなたへメリークリスマス」巨大モザイクアート展とは、11月26日から12月25日の1ヶ月間、大分駅前の地下道に2つのモザイクアートを展示したものです。今年はルノアールの「舟遊びをする人々の昼食」と世界的に活躍されているピアニストの「アルゲリッチ氏」の2作品を展示しました。私は今回の取り組みを通じて「人はひとりでは生きていけない。協力することで完成する」ということを学びました。今年は展示場所が変更になり、更には展示作品も例年の1作品から2作品に増えました。しかし、制作時間は例年よりも短く、約2ヶ月で完成させなければなりません。このような状況の中、私たち芸短生だけでは完成させることができませんでした。しかし、地域住民の方、春日町小学校の4年生などたくさんの方に協力してもらうことで、無事完成することができました。これからは何かをやり遂げるためには、いろいろな人と協力して取り組んでいきたいと思ひます。



津久見市人権フォーラム

情報コミュニケーション学科 2年 友永 早紀

活動月
1月

私たちは昨年引き続きこの津久見市人権フォーラムに、手話歌・詩の朗読といった形でのステージ発表で参加しました。手話歌では合唱曲の「believe」、童謡の「ふるさと」の2曲を歌い、詩では谷川俊太郎の「生きる」の一部を朗読しました。今年は手話歌の伴奏をピアノで学生が行うことや、詩の意味を考えながら自分たちで手話を考えることなど、新たな試みで挑みました。本番では会場の皆さんも参加してください、私は実際に手話に触れることで、会場一体となって、人権の意識を高めることができた実感しています。フォーラムでは小中学生の人権標語・人権作文の発表のほか、特別講師による講話も聞かれました。様々な人権に対する経験や、考えを吸収したことを今後の経験に生かしていきたいです。最後に、今回手話を通して私たちの思いを表現することができ、本当に良かったです。今後も人権に関する活動に参加し、自らの意見を発信していきます。

おおいた子ども劇場キャンプ

情報コミュニケーション学科 2年 西 ひより

活動月
8月

おおいた子ども劇場とは、大分市とその周辺地域の子ども、住民に対して、芸術文化体験等を促進する事業を行い、子どもの自主性・創造性・社会性を豊かに育むとともに、地域の子育て協働の輪を広げることを目的とする特定非営利活動法人です。私たちは、おおいた子ども劇場の子ども劇場という活動に参加しました。指導員として参加し、各グループに分かれ、4回のキャンプ会議を得てキャンプを迎えます。キャンプでは、料理作り、全体遊び、キャンプファイヤーなど様々な活動がありました。最初は不慣れだった料理作りでの包丁さばきや、青年と子どもの距離もだんだん無くなり、子どもも青年同士でもよりよい関係を築くことができました。子ども達と4日間過ごす上で、たくさんの成長を間近に見られたことは私たちにとてもいい経験となりました。

おおいた活性化ネットワーク

情報コミュニケーション学科 1年 松井 美優

活動月
通年

活性化ネットワークでは、青年会議所の大人たちと大分の大学生が10月頃のイベントに向けて企画・実行をする活動です。例年、地域社会特講Iという講義で紹介されています。さて、動には大きな魅力が3つあります。1つめは、学内外の学生や社会人の方と交流できることです。まず5月頃に紹介されるため、新入生同士が知り合うきっかけになります。普段は会いにくい他大学の学生や大人たちと出会えます。私や私の友人たちは活動が終わっても会話することがあります。2つめは、大人目線の就職についての話や学外のイベントの情報を聞く機会があることです。3つめは、なんといっても大人たちの力を借りながら自分たちでイベントの内容を考え、実際に形にするという経験ができることです。大学生ならではの活動だと思います。楽しい活動なので、皆さん一度足を運んでみてください!

2017年度サービラーニング一覧



4月
アースデイ別府
上野の森の会(毎月)
あしなが学生募金活動(3回)
大分県学生献血推進協議会(学生献血ボランティア)
おおいたの道 清掃活動

5月
あしなが学生募金活動
第54回九州視覚障がい者グランドソフトボール大会の競技補助等ボランティア募集
大分県学生献血推進協議会(学生献血ボランティア)
おおいた活性化ネットワーク会議(毎月)
大分ていこの道 清掃活動
AQUASOCIALFES 冷水をホテルの舞う観光名所に育てよう
府内学生エコフェスタ
地域交流センターお父さん応援教室、託児ボランティア活動
上野の森の会

6月
上野の森の会
田ノ口田植え体験
おおいたの道 清掃活動
地域交流センターお父さん応援教室での託児ボランティア
おおいた子ども劇場2016年子どもキャンプ事前指導員講座(全5回)
国道一番予選会
大分トリニータ若者集客大作戦
ふくしまっ子応援プロジェクト7～おもいっきり、九州の夏!!～募金&活動ボランティア(大分銀行ドーム)
ふくしまっ子応援プロジェクト7～おもいっきり、九州の夏!!～募金&活動ボランティア(トキワ本店前)
AQUA SOCIAL FES!! 第二回磯崎海岸をアカウマガメの古里にしよう!

7月
ふくしまっ子応援プロジェクト募金活動(トキワ本店前)
ふくしまっ子応援プロジェクト募金活動(大分銀行ドーム)

大分県学生献血推進協議会(学生献血ボランティア)
大分トリニータ若者集客大作戦
地域交流センターお父さん応援教室での託児ボランティア
夏の省エネ・節電セミナー
竹田食育ツーリズム 農家民泊
とうきび(とうもろこし)早朝収穫体験、とうきびフェスタ
ふくしまっ子応援プロジェクト当日見守りボランティア活動計画(田ノ浦ビーチ)
ふくしまっ子応援プロジェクト当日見守りボランティア活動計画(うみたまご)
第17回大分コガネグモ相撲選手権!
清正公二十三日夜祭歩行者天国
湯～園地ボランティア

8月
大分市のまちづくり(公共工事を通して、大学周辺のまちづくりを学ぼう!)
NPO法人おおいた子ども劇場 子どもキャンプ
府内戦紙ボランティア
セタブロードウェイ
民間学童保育「あすらん」竹田キャンパス交流

9月
～台風18号豪雨災害復旧支援～災害ボランティアバス「がんばろう津久見号」
赤い羽根ボールペン応援プロジェクト(9月～12月)

10月
三光コスモ祭り
おおいたスポーツ広場2017
みんなの消費生活展 未来への豊かな環境～学び・考え・行動しよう～
あしなが学生募金活動
おおいた夢色音楽祭2017
おおいたうつくし感謝祭
～台風18号豪雨災害復旧支援～災害ボランティアバス「がんばろう津久見号」
おおいたNPO博
赤い羽根ボールペン募金活動
大分トリニータ若者大集客活動
日韓交流会

大分国際車いすマラソン大会

11月
梓葉ボランティア祭り(赤い羽根ボールペン応援活動)
あなたへ「メリークリスマス」モザイクアート
台風18号豪雨災害復旧支援～災害ボランティアバス「がんばろう津久見号」
おおいたわくわくワークランド～Let'sお仕事!Getスマイル!～
大分県警察展「ふれあいポリスフェスタ2017」
たけた竹灯笼 竹楽

12月
大分県学生クリスマス献血キャンペーン「赤十字献血ふれあい広場」
津久見市人権フォーラム
大分市情報学習センター 情学市民フェスタ
クチナシの菓の収穫体験
べっふシューサイドかまくら de 鍋プロジェクト(12月～1月)
NPOお母さん広場 託児ボランティア

1月
べっふシューサイドかまくら de 鍋プロジェクト(12月～1月)

2月
NPOお母さん広場 託児ボランティア
lichikoグランシアタジュニアオーケストラ
べっふシューサイドかまくら de 鍋プロジェクト
府内南蛮ライティング

3月
森林セラビートレイルラン撮影

計60種類のサービラーニングが行われました。

2017年度地域活動フォーラム～感想と講評～

2017年12月16日(土) 会場:本学 大講義室

サービラーニングでは活動をするだけでなく、様々な活動を行った際に、中心となった学生達による活動報告会として、毎年12月～1月頃に地域活動フォーラムを開催しています。今年も高校生、一般の方など多くの方にご来場いただきました。

一般 Y・Y さん

今の情報発信は、SNSがメインなのだとな驚きました。学生達の発表内容も学生以外の係わり(他大学、商工会等)が多かったので、卒業後の進路を考える上でも、とても役立つと思います。学内の限られたコミュニティだけでなく、学外の様々なコミュニティに参加し、自分の幅をどんどん広げていてもらいたいです。

臼杵高等学校 N・M さん

地域活動フォーラムを聞いて、サービラーニングは企画からすべて自分達で行うことが出来るので、とてもやりがいがあると感じました。サービラーニングを通して、地域の方々のつながりも出来るので、地域を良くすることにも繋がると思いました。私も、沢山のイベントに参加したいと思えます。たくさんやってみたくことが増えたと思います。

別府鶴見丘高等学校 H・W さん

1つのイベントを立ち上げるだけでも、何度も企画会議を行ったり、結果について反省したり、何より沢山の方の協力が無いと成り立たないのだなと感じました。多くの発表で、SNSを使って情報発信をしていました。SNSにより、そのイベントや、地域について興味を持ってもらえたという効果があることも分かりました。来年から、私もそのような活動に参加できるのが楽しみです。

大分県立別府翔青高校 F・M さん

地域活動フォーラムで、活動は、少しずつの会議を通し、出来上がり、SNSの情報発信を利用し、行っていることがわかった。活動を通して、反省・改善・分析をしていて、次にもっといい物を作ろうとしてすごいと感じた。私も入学したら、様々な活動を通して、人とのコミュニケーションを大切に、積極的に参加していきたいです。本日の「地域活動フォーラム」に参加してよかったです。

◆発表者紹介◆ 府内学生エコフェスタ・黒木 瑠奈/竹田食育ツーリズム研修・遠本 愛実・祖母井 奏絵/清正公鶴崎23夜祭・八坂 梨沙子・野中 紀美・小笠原 菜佑・池永 さつき/大分活性化ネット・永松 陽与・松井 美優・うつくし感謝祭・NPO祭り/大分消費生活展・矢野 真歩・湯浅 裕香/赤い羽根プロジェクト・高瀬 彩葉・岡 奈都輝・渡部 美来・亀井 菜々/大分トリニータ応援プロジェクト・麻生 南末・佐々木 香識・姫島 玲名/あなたへ「メリークリスマス」・安部 琴未・安部 七彩・上山 由貴/津久見市人権フェスタ・友永 早紀/おおいた子ども劇場「子どもキャンプ」・西 ひより・武村 由・茨木 七帆

最新情報 check!!

- 「環境活動芸文短大サービラーニング」
<https://www.facebook.com/kankyokatudougeibuntandai>
- 「たけたみつた」
<http://cis-oita-pjc.ac.jp/taketa/index.html>
- YouTube「芸短TV」
<https://www.youtube.com/channel/UCwglqEUs7J2zc7uuZyG7A>

- 「おおいた活性化ネット芸文短大」
<https://ja-jp.facebook.com/ooitakasseikanet>
- 「たけたみつた(たけた芸文短大交流)」
<https://www.facebook.com/taketaigeibuntandaikouryuu/>
- 「赤い羽根ボールペン応援プロジェクト」
<https://www.facebook.com/geitanakaihane>
- 「おおいたギネスに挑戦アートプロジェクト」
<https://www.facebook.com/oitaguinnessartproject>

Voice



大分県立芸術文化短期大学 サービラーニング公式新聞
〒870-0083 大分市上野丘東1番11号 大分県立芸術文化短期大学
tel.097-545-4744 (地域活動室)
□ <http://oitapc-cis.jp/> □ geitan.sl@gmail.com (地域活動室)